

躍動

誰もが安心して
生活できる東中
～思考・発言・行動を
マイナスからプラスへ～
制定：平成27年3月
改定：平成29年3月

あいさつ
合唱
無言清掃
制定：平成26年3月

2020年 8月20日(木)

オンラインゲーム利用に留意を!!

小中学生の間で、バトルロワイヤル系(参加者同士の殺し合い)のオンラインゲームが流行しています。スマートフォンやタブレットはもちろんのこと、家庭用のゲーム機でも参加が可能で、友達だけでなく、会ったことのない人とも、チャット機能を活用して音声や文字でコミュニケーションを図ることができるゲームです。

こうしたゲームをきっかけに、さまざまな問題やトラブルが起きている。

課金問題

オンラインゲームの多くが「無料」でダウンロードでき、遊ぶことができます。しかし、課金することで限定のアイテムが入手できたり、相手よりも優位になれたりする等、利用者の購買意欲を高めるような仕組みになっています。

携帯電話の料金決済やクレジットカードの持ち出し等が問題となっており、後に高額な請求が来たことで発覚するケースが多いようです。

※クレジットカード番号等の少ない情報のみで、課金ができる仕組みになっています。クレジットカードの面の写真を撮られてしまえば、カードの盗難に遭ったのと同様です。

ギフト機能によるトラブル

オンラインゲーム上で手に入れたアイテムを、参加している別の人に「ギフト」としてプレゼントすることができます。この機能により、プレゼントをたかられる被害に遭う子どもがいるようです。また、課金を禁止されている家庭の子に代わって購入する等して、保護者の知らないところで子ども同士による金銭のやりとりが行われることもあります。なかなか手に入れないアイテムを高額で売り付けられ、換金可能なポイント等を搾取される被害も起きている。

危険な出会いの温床

オンラインゲーム内のチャット機能(音声や文字でコミュニケーションできる機能)により、友達だけでなく、会ったこともない人とつながることが可能です。いわゆる出会い系サイトと同様で、会ったことのない大人と出会うことができます。この機能を悪用して言葉巧みに呼び出され、犯罪の被害に遭うことも予想されます。



生活の乱れ

遅くまでゲームをすることで生活のリズムが崩れ、授業中に居眠りをしたり、集中できなくなったりする生徒がいます。興味あること以外には無気力になり、感情のコントロールができなくなったという例もあるようです。

「ゲーム内でいじめられた」「しつこくアイテムを要求される」「アイテムをくれないから無視をされる」「チャット上で悪口を書き込まれる」等、オンラインゲーム内でのトラブルにより不登校になるケースもあります。

上記は飽くまで「例」ですが、実際に本校でも似たような事案が起きている。「うちの子に限って…」と思われる方もみえるかもしれませんが、対岸の火事と思わず、留意いただきたいです。

学校で相談に乗ることはできます。しかし、保護者の管理のもと、お子様に買い与えたものであるため、学校側が強制的に調査したり、管理したりすることはできません。しかし、**未成年な中学生であるため、さまざまな心配事案が起こりうる可能性があります。知らないうちに被害に遭っていたり、加害者になっていたりする事案が後を絶たないようです。取り返しのつかない状態になる前に、トラブルを防止し、早期対応ができるとういことです。**

保護者の皆さまには、**今一度、オンライン環境に潜む危険性について知っていただくとともに、お子様の生活の様子やオンラインの活用の仕方、交友関係について把握していただく必要があると思います。**

なお、心配なトラブルがある場合には、恵那警察署生活安全課(26-0110)へ相談されるとよいです。